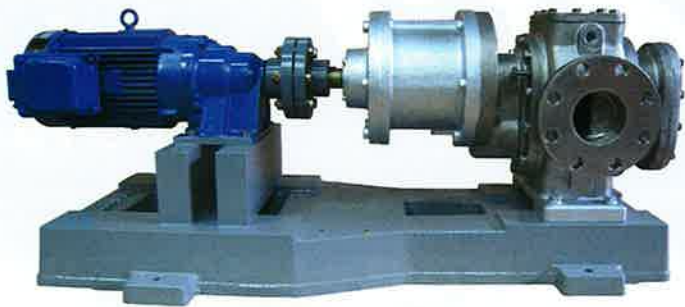


## 技術開発力と情報収集力で進化を続け、 荒川区から世界市場へ



平成24年に荒川区「新製品・新技術大賞」で最優秀賞を受賞した耐熱シールレスギヤポンプ

### ■プロフィール

昭和37年5月7日荒川区生まれ。成城大学経済学部卒業。ソフトウェア会社を経て、平成5年に大東工業株式会社に入社。平成19年に4代目社長として経営を引き継ぐ。荒川区産業展実行委員長、荒川マイスター選考委員長、荒川区工業団体連合会会長、足立荒川労働基準協会会長も務める。



井上 浩さん  
いのうえ ひろし

荒川区産業展実行委員長  
荒川マイスター選考委員長  
大東工業株式会社 代表取締役

# 第237回 荒川の人

都電荒川線、荒川車庫前の電停を降りて1分の場所にある大東工業株式会社。化学消防車やビルの非常用発電、チヨコレート工場、石油プラントなどで使われるギヤポンプのトップメーカーです。今年で創業から80年を迎え、平成24年に荒川区「新製品・新技術大賞」最優秀賞を受賞するなど、「モノづくりのまち」荒川区を起点に世界へ向けてさらなる躍進を目指す同社の4代目、井上浩社長にお話を伺いました。

### すべての化学消防車に使われる

#### 大東工業のギヤポンプ

ギヤポンプとは、上下にかみ合う2つの歯車をモーターで動かし、液体を送り出す産業用のポンプのこと。身近なところでは、全国の化学消防車の泡を放出するための原液を注入するポンプはすべて大東工業製のもの。創業以来80年間、ギヤポンプ一筋で顧客のニーズに添えてきた技術力は、国内外で高い評価を得ており、なんとユーザーは1000社を越えるといえます。

「一番近いお客様は西尾久8丁目の神田湯さんで、お湯をわかすポイラーに燃料を供給するポンプ。一番遠いところでは南極。昭和基地に燃料を供給しているのが当社のポンプです」

震災後に需要が高まり、主力製品となったのが、非常用発電機を動かすための燃料を送るポンプ。スカイツリーをはじめ、丸の内線のK11T Eやコレド日本橋、東京ミッドタウン、大阪のあべのハルカスなど、日本の高層ビルや商業施設のほとんどに大東工業のポンプが使われています。そのほか、トヨタのエコエンジンの開発用ポンプやホンダのF1のエンジンテスト用ポンプなどの自動車メーカーの研究所などにも製品を納めています。

ソフトウェア会社を辞め、  
セールスエンジニアから社長に

日立製作所のエンジニアだったお祖父様が昭和10年に創業され、当時、輸入品しかなかったギヤポンプを国内で初めて製造したそうです。その後、叔父様、お父様、井上社長へと引き継がれ、今日に至ります。

「大学を卒業後、SE(システムエンジニア)としてソフトウェア会社に勤めていたんですが、担当していたプロジェクトが一段落したときに、親父に『会社に入らなくていいの?』って聞いたら、『実は入って欲しいんだよね』と。今まで言われたことがなかったのに、初めて言ったんです」

これを機に30歳で大東工業に入社した井上社長が就いた職は、同じSEでもセールスエンジニア。客先の技術者と技術的な打ち合わせをし、ポンプの型式、モーターの馬力、モーターとポンプの接続方法などの基本的な設計から販売までが仕事となるため、多くの知識が必要でした。

「技術的なことは入社してから勉強しました。経済学部を出てソフトウェア会社に入ったときも一から勉強でしたし、日本で最初にギヤポンプを作った人の孫だから、できないわけがないという強い思いがあったから、やれたんだと思います」

平成19年には代表取締役に就任。進歩する気持ちがなければ、維持どころか衰退していくという持論のもと、常に進化の道を探る井上社長。インターネットや顧客からの情報収集を徹底し、好調な業界に重点的に営業をすることで、商機を得てきました。

液漏れしない「シールレスギヤポンプ」は顧客からの要望で開発したのですが、行く先々の工場で「廃棄物ゼロ宣言」を掲げているのを見た井上社長は、「液漏れしないギヤ

ポンプなら廃棄物ゼロに繋がり、環境にもやさしい。これはいける!」と判断し、積極的に投資をしました。

### 荒川区から世界へ発信し続ける

シールレスギヤポンプの開発が認められ、平成24年に荒川区「新製品・新技術大賞」最優秀賞を、さらには新製品の積極的な開発により経営力を高めた企業として平成25年に「東京都経営革新優秀賞」最優秀賞を受賞した大東工業。井上社長に進化し続けるための次の一手を伺いました。

「ひとつは、世界規格になるといわれているアメリカ石油協会の規格に適合するポンプを開発し、海外市場を狙うこと。もうひとつは、研究開発の分野を強化すること。日本企業の工場が海外へ移り、国内の工場の多くは研究開発や試作品づくりが中心になってきているため、さらに技術力を高め、高付加価値のニーズに添えていきたいと考えています」

また、井上社長は、生まれ故郷であり、会社の拠点でもある荒川区の産業に関する活動にも貢献。昨年から荒川区産業展実行委員長を引き受けるほか、荒川マイスター選考委員長などの重責も担っています。

荒川区に営業、設計、製造、実際のポンプが見られるショールーム機能まで、すべてを集約した都市型メーカーとして世界へ向けて発信する井上社長の活躍は、「モノづくりのまち」荒川区の産業を牽引する力となってくれるに違いありません。

#### 大東工業株式会社

〒116-0001

東京都荒川区西尾久7-52-1

電話:03-3893-4811

<http://www.gearpump.co.jp/>